

第三者評価結果（障害者・児）

※すべての評価細目（26項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

A-1 利用者の尊重

		第三者評価結果
A-1-(1) 利用者の尊重		
①	A-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>障がいの程度に応じて絵や写真、絵カード、ジェスチャー、マラカスを振ってもらい「はい、いいえ」を伝えてもらうなどコミュニケーションの工夫を行っている。何気ない表情の変化によるサインの発見と確認を心がけている。また、家族から生育状況での情報収集を行い、いつもタオルを手を持っていると安心していたなどの些細な情報をもとに、利用者が安心して意思伝達できるための個別的な対応や創意工夫を行っている。</p>		
②	A-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>毎月開催する「話そう会」で利用者と職員の話し合いの場が設けられている。そこで利用者から多く出された外出希望や食事の献立への要望等については職員間で話し合わせ、毎月の外出計画が立案されている。また、食事についても献立に取り入れたり、外食に出かけるなど対応している。今後はこれまでの活動を充実させるため、利用者の主体的な活動に向けて意見、要望等への対応や側面的支援を共有化できる文書等の整備が求められる。</p>		
③	A-1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>利用者のできる行為については見守り支援を行い、家族へは月1回、状態や生活状況について報告している。高齢化に伴い、新たな支援が必要になった場合は、棟内会議で支援内容を話し合い職員間で確認して支援を行っている。しかし、職員によっては必要以上に支援を行ってしまうなど、統一化はされていない状況である。今後は、利用者が自力で行えることと介助が必要なことについて、職員間での共有化を図り、統一した支援を行うことが望まれる。</p>		
④	A-1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画に基づき、施設内では掃除などの環境整備やリサイクル活動への参加などを行っている。施設外では買い物や電車を利用して他市までの外出やバスを利用して近隣への</p>		

外出支援などを行っている。また、地域移行を希望している利用者には、グループホーム見学など体験の機会を設けている。

今後は、利用者のエンパワメントの向上のため、地域の人との関わりができるような地域参加型の情報提供や、様々な生活体験ができるような取り組みが求められる。

A-2 日常生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 食事		
5	A-2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	㉠・b・c
<p><コメント></p> <p>平成23年より利用者一人ひとりの栄養ケア計画書を作成し、栄養状態を管理している。また、利用者の体調や身体状況、さらに偏食などに対して、とろろやパンなどを使った特別献立を作成して提供している。利用者は食事を楽しみにしており、様々な食材を使って栄養バランスを考慮しながらおいしく食べやすくする創意工夫を心がけ実施している。特別献立の利用者のテーブルには絵カードで食材内容を明示するなど、職員への周知を徹底している。また、看護師や支援員と連携して体重の推移や健康状態の共有を図り、低栄養状態の予防に取り組んでいる。</p>		
6	A-2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	a・㉡・c
<p><コメント></p> <p>食事は毎食、法人運営の給食センターから施設に運ばれ、施設内の調理室で適温の食事が提供されるよう管理されている。月1回、「食事提供委員会」を開催して利用者の意見や好みを聞いて献立等に反映させている。また、特別献立食も盛り付けを見て食材がわかるよう工夫を行うなど、美味しく食べられるよう配慮されている。今後は、給食センターで行っている残食調査と同様に、これまで実施されていなかった利用者の嗜好や栄養管理を行うため、食事のアンケート調査を実施して献立に反映するなどの取り組みにより、さらなる充実を期待したい。</p>		
7	A-2-(1)-③ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	a・㉢・c
<p><コメント></p> <p>調理後喫食するまである程度の時間を設け、その幅のある時間帯で個別に対応している。また、利用者が安心して落ち着いて食事ができる食事場所の提供を心がけ、体調に応じて居室に運ぶなど配慮している。席順はテーブル上に絵を用いたカードが置かれ、わかりやすく表示している。今後は、クリスマス会などの行事開催時だけの飾りつけではなく、年間を通して季節感などが感じられるような、食堂全体の環境づくりについての検討が望まれる。</p>		
		第三者評価結果
A-2-(2) 入浴		

8	A-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>入浴前には利用者の健康状態や朝の申し送りや留意事項などを把握し、看護師と共に入浴の判断を行っている。入浴できない利用者には、清拭を行い着替えの支援を行っている。大浴槽や小浴槽での個浴、リフト浴（中間浴）やシャワーチェア、マット等の入浴器具を使用して利用者の障害の程度に配慮した入浴支援が行われている。</p> <p>しかし、これらの援助活動に係る標準的なマニュアルが整備されていないことから、今後は安全面やプライバシーの保護を含めた入浴介助マニュアルの整備が望まれる。</p>		
9	A-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>週3回の入浴日以外に失禁や日中活動で汗をかいたときは、シャワー浴を行っている。シャワー浴の際には、浴室、脱衣室の保温に努めるなど配慮している。</p> <p>しかし、利用者から、多人数での入浴なのでゆっくり入れない。ゆっくり入浴してみたいとの意見が出されている。今後は入浴時間や回数など利用者の希望を把握して対応できるよう検討が求められる。</p>		
10	A-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>車いす利用者には出入り口や脱衣室の広さは不十分であるが、入浴順番の調整やリフト利用等に対応している。また、入浴時には廊下にのれんをかけ、出入り口にカーテンを取り付けるなどの工夫をしてプライバシー保護や保温に配慮している。脱衣室は冷暖房設備が整備されているため、利用者はゆっくりと衣類の着脱が行えている。</p> <p>脱衣室と浴室の段差解消や入浴器具等についてその整備の必要性を把握し整備計画に盛り込んであるため、利用者の安全確保のため早急に整備されることが求められる。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(3) 排泄		
11	A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>居室でのおむつ交換では同室利用者の不在中に行ったり、ポータブルトイレは居室より離れた場所に設置するなど、利用者の状態に応じて個別に対応している。排泄介助の対応後は排泄表に記録を行い、職員間で共有して支援に活用している。</p> <p>しかし、介助に関わる標準的なマニュアルが整備されていないことから、今後は、職場全体としての共通の援助業務に取り組むため、安全面やプライバシー保護などを考慮した排泄介助マニュアルの整備が求められる。</p>		

12	A-2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	a・ b ・c
----	-------------------------	----------------

<コメント>

トイレは毎日2回の掃除を実施し、汚染時はその都度、掃除を行っている。臭いについては、利用者や監査、外部モニターで指摘を受けているが、構造上の問題もあり、掃除と防臭剤散布、換気扇で対応している状況である。環境整備の点検等で改修工事などの整備計画には盛り込まれている。

利用者から要望のあった鍵付きトイレの設置については、男子棟一部の設置となっている。今後は、プライバシー保護や地域移行を推進していく観点から、女子棟にも鍵付きトイレの設置の検討および防臭改善への取り組みが求められる。

		第三者評価結果
--	--	---------

A-2-(4) 衣服

13	A-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	a ・b・c
----	--	---------------

<コメント>

買い物支援で行く前に、購入希望の衣類について利用者と話し合いを持ち、購入時には利用者の好みなどを尊重しながら支援を行っている。家族から好みの衣服を聞いたり、持参してもらおうなどの協力を図っている。また、代理で購入する利用者にはチラシや雑誌を見せてもらい、色やデザインと一緒に選択して好みを確認するなど、利用者の個性や好みを尊重した支援を行っている。

14	A-2-(4)-② 衣服の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	a ・b・c
----	---	---------------

<コメント>

居室内に利用者毎の衣類が収納してあるので、利用者は自分の好みの衣服に着替えることができる。利用者が着替えたいとの希望や汚れたり破損に気づいた場合は、利用者の意思を尊重して速やかに対応している。また、入浴しない日でも毎日、下着交換を行うよう支援している。さらに、着替え時、汗ばんでいるときは清拭後に着替えを行うなど清潔感のある身だしなみに配慮している。

		第三者評価結果
--	--	---------

A-2-(5) 理容・美容

15	A-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a・ b ・c
----	---------------------------------------	----------------

<コメント>

施設に定期的に来てもらう理容師による理髪の利用者が多く、同じような髪形になってしまいがちであるが、利用者の主体性を尊重できるよう職員手作りのヘアカタログを作成して髪形を選択しやすくするなどの工夫を行っている。

今後は、身近に感じるようなイメージを持てる資料の作成や、夏祭りなどのイベント参加

時に髪飾りを使つての髪形にしたり、化粧してのおしゃれを楽しむなど利用者の興味を引くような支援や好みを把握した対応が期待される。

16	A-2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。	a・b・c
----	---------------------------------	-------

<コメント>
 施設に定期的に理容師に来てもらい、外出できない利用者の理髪を行ってもらっている。その他、地域の4か所の理容店や美容院の協力が得られ、利用者には選択してもらっている。利用時は事前予約を行い、職員が送迎を行っている。また、利用者の状況に応じて職員が同行し、理容師、美容師からも意見を聞きながら協力が得られるよう配慮した支援が行われている。

	第三者評価結果
--	---------

A-2-(6) 睡眠

17	A-2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	a・b・c
----	---------------------------	-------

<コメント>
 多床居室であるが、利用者の状況に応じてベッドや畳、マットレス等を利用して対応している。寝具は利用者の好みに応じて私物使用もでき、介護用品の利用などで安眠できるよう支援している。また、不眠時には温かい飲み物を提供して眠くなるまで待ったり、デイルームの利用など落ち着ける場所を確保できるよう個別に対応している。今後は夜勤時の職員数も少なくなることから、夜間就寝中に関わる対応マニュアルの整備が求められる。

	第三者評価結果
--	---------

A-2-(7) 健康管理

18	A-2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	a・b・c
----	--------------------------	-------

<コメント>
 看護師を中心に、健康管理票で利用者の健康状態の把握や職員との共有化を図り健康管理を行っている。家族へも年1回(2月)健診結果等健康状態を定期的に通知している。歯みがきは朝晩2回実施し、必要に応じ歯科医院での歯石除去や歯茎マッサージなどの口腔ケアを行っている。専門的な治療を必要とする場合は、家族の意向を聞きながら大学病院や総合病院等へ通院支援をしている。健康維持や増進については、朝、昼ラジオ体操のほか、施設周囲の散歩を行っている。車いす利用者には、膝や足つま先の曲げ伸ばしを行うなど硬縮が進まないよう積極的に取り組まれている。

19	A-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a・b・c
----	---------------------------------	-------

<コメント>
 家族から「医療機関受診に関する委任状兼承諾書」の同意を受けており、「緊急時対応マニ

<p>ュアル」に基づき、法人が運営する「太陽の国病院」での24時間対応となっている。また、近隣の総合病院が協力医療機関となり、迅速な対応に向けた医療体制が整備されている。</p>		
20	A-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>「服薬及び誤薬対応マニュアル」や与薬準備手順書など薬物管理体制が整備されている。また、薬物の管理については定期的に内部研修を行っている。誤薬防止への取り組みでは、配薬のチェック体制の見直しを図り、各棟職員2名と事務職員1名、看護師1名が医務室でトリプルチェックを実施している。その結果、平成25年から誤薬はみられていない。また、薬の変更などの引継ぎ申し送りも配薬時に行い共有化が図られている。</p> <p>薬物の管理はできているが、利用者が服薬する薬の副作用等、薬についての基本的知識が職員にも求められることから、薬物に関する職員への学習会等の開催が望まれる。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(8) 余暇・レクリエーション		
21	A-2-(8)-① 余暇、レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>「ふれあい会」を開催し、カラオケ歌合戦や地元のボランティアに来てもらうなど、利用者が参加でき楽しめる工夫を行っているが開催回数が少ない。今後は、利用者が楽しめる「ふれあい会」の定期的な開催や、利用者がそれぞれ役割を持って参加できる主体的な関わりを引き出せるような働きかけを期待したい。また、地域の行事やイベントなど身近な情報提供を行うと共に、参加に向けての取り組みが望まれる。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(9) 外出・外泊		
22	A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・ (b) ・c
<p><コメント></p> <p>利用者の要望が多い外出支援について、年間外出計画に沿って7グループに分かれ外出を実施している。しかし、利用者の希望する回数や内容は不十分である。利用者の障がいの程度に応じて、一人で外出をしている利用者もいるため、今後は安全確保や不測の事態に備え連絡先を明示したカードなどの保持や必要に応じてガイドヘルパー、介護タクシー、ボランティア等の活用など、利用者の希望に応じた外出支援への取り組みが求められる。</p>		
23	A-2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	(a) ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者や家族の希望に応じ外泊に対応している。また、年3回(5月連休、お盆、正月)ハガキで家族の意向把握を行っている。家族の世代交代で家族対応が難しい状況であるが、</p>		

一般の方が利用できる「太陽の国厚生センター」や自宅以外での外泊を提案するなど、利用者や家族の立場に立って配慮しながら外泊支援を行っている。

		第三者評価結果
A-2-(10) 所持金・預かり金の管理等		
24	A-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>「預り金管理要項」に基づき、責任の所在を明確にしており、現金については「お客様小口現金管理要領」に基づき、すべて複数名で確認するなど担当者、管理者のもと適正な管理体制が整備されている。今後は、利用者の地域移行を進めていく中で、金銭の自己管理に向けた支援体制への取り組みが求められる。</p>		
25	A-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>新聞やテレビは棟内での共同利用となっているので、自由に関覧や視聴が行えている。また、新聞、雑誌の購読やテレビの個人購入ができるので、希望に応じて対応している。夜間時、居室でのテレビ視聴は他の利用者の迷惑になるので、デイルームのテレビなどで個別に対応を行い、利用者の希望に沿って支援をしている。</p>		
26	A-2-(10)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	a・b・ c
<p><コメント></p> <p>今までの利用者で嗜好品を希望される方がいなかった。また、利用者の高齢化により健康上の影響等を考慮すると、飲酒や喫煙の提供はされていない。そのため、嗜好品についての利用者の意思は把握されていない。今後は、利用者の意思や希望を把握し、飲酒や喫煙に対して利用者が正しい認識がもてるよう、基本的ルールの設定など具体的な取り組みが必要である。</p>		